

JUDI 中国ブロック

ブロック幹事

亀谷 清 Kiyoshi Kametani

ブロックメンバー

伊藤幹郎 井ノ上知子 大野慶子 亀谷 清 杵村優一郎 五百田 定 寺本和雄 長沼眞智子
藤本まりこ 松波龍一 横田宜明 三木修平 山崎洋二 宇坪涼美



直島 (香川県) 街並みウォッチング 鞆の浦 (広島県) の意見交換会 都野津 (島根県) 街並みウォッチング

■ブロックの置かれた地域特性、課題など

中国ブロックでは、都市・街づくりの専門家が少なく、ややもすると都市間のまちづくりに関する情報発信や交流の場が少ないため、ブロック内の繋がりが薄いという状況がある。

一方で、広域合併が進み、街づくりへの支援が従来のような行政主導による各種事業の導入という形では難しくなっている状況下においては、如何にしてそこに住む人が工夫をし、街づくりに関わって行くか、合意の形成、街づくりのプロセスが重要になっている。そこに関わる専門家の育成も課題となっている。

中国ブロックは、瀬戸内地方から山陰地方、政令都市・中小都市から農村部・中山間地域と多様な都市形態と自然風土、歴史的資源を持っている。また、歴史的町並保存や港湾都市をはじめとする景観の保全、更に防災面での課題も多い。特に、離島や限界集落と言われる過疎地域の問題、高齢化を迎える中で地域の活性化に向けた創造的農村づくりへの課題は、共通して存在している。

■地域の都市デザイン、まちづくり等への現状の取り組みと活動概要

1993年1月に中国ブロックを設立して以降、まずは会員がお互いを知ること、そして中国ブロック内の都市や地域を実際に訪れ、地元の人との交流の中から、課題を見つけること、できればまちづくりへの提案をしていくことを目標に活動をしている。

しかし、ブロック内に分散している会員が日帰りで集まることが難しく、日程調整に苦労するなど、活動には制限が多いが、現在までに「中国ブロック20年の歩み」に記載しているように30都市以上訪問している。ここ数年は、毎年2~3都市を訪れ、フィールドワークや交流会を開催してきた。

特に重視しているのは、その街で中心となってまちづくり活動をしている人との意見交換や交流である。専門的に街をウォッチングすると同時にその街に住む人やそこで活動している人との意見交換は、JUDI会員にとっても新しい発見や発想を生む重要な機会である。また、短時間であっても密度の濃い議論ができる場でもあり、今後とも積極的に取り組む考えである。

■ブロックとして、JUDIとしての課題解決の方策と今後の活動ビジョン

新規会員の加入が難しく、また活動も限られる中で、如何にして活動を継続していくかである。

継続的な情報発信と同時に今後は、街づくり関係団体との共働も大切であると考えている。

中国ブロック内において、まだ訪問していない都市や街が多いため、今後の活動としても様々な都市に出かけ、実態としての地域を見て、その課題を把握していくことは重要であると考えており、地域で活動している人との連携を重視していく方針である。

特に、現在山口県はJUDI会員がいないため、会員を確保し、同時に山口県における都市デザインやまちづくりについても意見交換をしていきたいと考えている。今後の活動については、テーマを決めてじっくりと継続的な取り組みをしていくことも大切であると考えている。会員相互の連携を重視して、協議して進めていきたい。

中国ブロックのおすすめ景観

(名称; 有福温泉 場所; 島根県江津市有福町)

有福温泉は、山陰石見地方の古くからの旅館街である。湯路川沿いの階段状の旅館や住宅がひなびた風情を醸し出しており、神楽殿、有福大仏、善太郎餅などの地域に親しまれた文化も受け継がれている。

平成25年の洪水により、被害を受けたところであるが、復興に向けて地域あげて取り組まれている。防災対策、下水道整備や景観を生かす町並み修景が課題である。



(名称; 鹿野町の町並み、場所; 鳥取県鳥取市鹿野町)

鹿野町は、大山からの湧水が流れ、農村風景と街並みが一体となっている。ロードサイドの混在化した日本の景観の中にあって、極めて質の高い景観を保っていると言える。

特に、NPO法人いんしゅうまちづくり協議会の活動は活発で、「しかの館」を拠点にソフトなまちづくりを進め、景観意識の高い多様な活動をしている。



(名称; 柳井市白壁の町並み 場所; 山口県柳井市 古市・金谷地区)

柳井は、「きんぎょちょうちんと白壁の町」として有名であり、国指定重要文化財の国森家住宅をはじめ、伝統的建造物群保存地区がある。きんぎょ飾りに限らず、家の中を開放したディスプレイも見られるのもいいところである。

景観を意識してイノベーションをした建物も見られるが、今後は、伝建地区以外の隣接地などへの波及が課題である。



中国ブロック活動紹介

三次地域戦略プラン市民フォーラム参加（広島県三次市、活性化に関する意見交換会と交流会）

自動車道松江尾道線の開通による三次市の活性化、まちづくり戦略への影響について、市民フォーラムに参加し、行政まちづくり関係者との意見交換会を行った。地方都市の厳しい現実への指摘と同時に三次市の街並みや魅力について語りあった。地域の皆さんに再認識をしてもらうことを提言した。



行政関係者との意見交換会



交流会

社の門前町整備（島根県出雲市、神迎への路視察と門前町整備の意見交換会）

出雲大社は遷宮を機に現在、門前町の賑わい創りを進めている。地元と行政が協力する神門通りの整備が行われており、確実に賑わいを増している。一方でその周辺には、神迎への道や旧街道ぞいの街並みも残っており、歴史的な街並みもあることから、これらと一体となったまちづくりが求められる。



廻船業を営んだ藤間家



築地東の街並み

有福温泉街の活性化（島根県江津市有福町、有福Cafe 視察、意見交換会）

石段のある情緒あふれる温泉街には、3つの小さな外湯がある。近年旅館の火災があり、跡地の活用を含めた活性化について議論中である。神楽殿は完成したが、ミニ公園の整備以外は、未定である。温泉街の活性化として、有福Cafeを旅館経営者の皆さんが取り組まれている。



神楽殿と広場（整備予定）



かつて賑わった有福温泉

赤瓦のまちづくり（江津市都野津町、街並み視察と地元ボランティアとの交流会）

江津市は、石州瓦の産地であるが、瓦利用の減少から厳しい状況である。市も歴史的な赤瓦の景観保全を検討している。特に、鬼瓦には、ユニークなものがみられる。近年空家の管理が問題になっているが、地元にある学校と地域が関わって、保全実習やイベント利用で保全管理を試みる民家もある。



川本屋



龍の鬼瓦屋

歴史的街並みにおける大型木造建物の保全（山口県柳井市、街並み視察）

伝統的建造物群保存指定地区と隣接する地域において、街並みの保全を活かす取り組みがあり、醤油醸造蔵などの比較的大きな木造を再利用している。木造建物のノバージョンでは、耐震補強は避けて通れない課題であり、様々な技術的試行がされている。



体験工房やない西蔵



醤油醸資料館

リゾート開発・ホテルの再生（山口県周防大島、視察、ホテル再生の講演会と意見交換会）

リゾート法に基づく開発が全国各地でされてから久しく、その多くは途中で頓挫している。周防大島のホテルは、「みかん鍋」「ハワイアン」などをキーワードに地域の農協や商工会と連携し、農業生産・観光、景観づくりへの貢献をホテルの理念に再生に努力している。



サンシャイン・サザン瀬戸



鍋専用に栽培されたみかん

廃校施設の利用と地域活性化（鳥取県鳥取市鹿野町、「鳥の劇場」視察と意見、交換）

全国各地で小中学校の統廃合が進み、廃校となる施設が多くあるが、旧鹿野小学校幼稚園は、「鳥の劇場」という劇団が活用するというユニークな取り組みをしている。地域の子供たちも、演劇を学び、地域と劇団とがお互いにいい関係であり、地域とのコラボレーションも注目されている。



外観



内部

鹿野まちづくりが合宿参加（鳥取県鳥取市鹿野町、創造的農村の講演会、街並み視察ほか）

コンパクトな街並みとそれに連なる農村風景、綺麗な水、田畑や果樹園があるという日本の原とも言える鹿野町の景観である。名建築や伝建地区の指定はされていないが、そこに住む人々の美意識は高く、住むことの意味、創造的農村について考えさせてくれる街である。

